

獣 医 解 剖 学 教 育 用 掛 図 の 調 査

柴田秀史^{1), 2)†}北畑浩太郎²⁾神田尚俊^{1), 2)}

1) 東京農工大学大学院共生科学技術研究院 (〒183-8509 府中市幸町3-5-8)

2) 東京農工大学農学部 (〒183-8509 府中市幸町3-5-8)

(2009年8月18日受付・2009年12月16日受理)

要 約

東京農工大学獣医解剖学研究室に所蔵されている解剖学教育用掛図の外装および内容を詳細に調査した。掛図は合計314点存在し、そのうち292点は紙に描かれ軸装されており、22点は軸装されていない紙あるいは厚紙に描かれていた。掛図の内容は、肉眼解剖学182点、組織学・発生学46点、外貌・蹄86点であった。肉眼解剖学掛図でもっとも多かったのは馬の運動器を描いたもので63点上った。外貌・蹄の掛図も馬に関するものが83点存在した。これらの掛図は第二次世界大戦以前に当研究室で作成されたものであると推察された。掛図の内容を現在の解剖学の教育内容と比べると、馬の運動器の解剖学が中心であることと、馬の外貌・蹄に関するものが含まれることが特徴的である。このことは当時の軍事および農耕用として馬の重要性を反映するものであると考えられる。

——キーワード：獣医解剖学教育，掛図，教育内容。

----- 日獣会誌 63, 271～274 (2010)

† 連絡責任者：柴田秀史 (東京農工大学大学院共生科学技術研究院獣医解剖学研究室)

〒183-8509 府中市幸町3-5-8 ☎・FAX 042-367-5766 E-mail : shibata@cc.tuat.ac.jp